

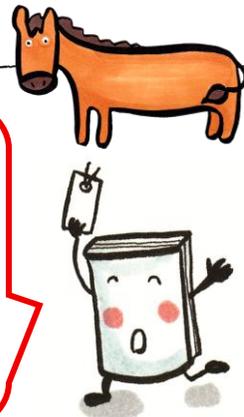
# 図書館通信

2026年1月号

船浦中学校 図書館 No.31

年が明けて、3年生は受験モード全開？ 昼間はさびしい図書室も放課後は受験勉強や検定に向けて学習する生徒でにぎわっています。図書室では、以下の本を展示しています。

- おすすめノンフィクション・・・" 事实は小説より奇なり" です。
- 胸キュン本・・・胸キュン本ベストを選びます。ハトキメク本を教えてください。(2月に投票を行う予定です)
- 千支にちなんで馬が出る本



## 本のリクエスト

読みたい本、購入してほしい本のリクエストは随時受け付けています。(カウンター横にBOXを置いています)

## 空とぶ図書館がやってきます!

日時 1月25日(日) 午後2時~午後7時

1月26日(月) 午前9時~午前12時

場所 上原複合型施設(上原保育所・幼稚園2階)

1人15冊 2月26日まで借りることができます

## タイムスリップ 歴史ニュース

1972年1月24日

### グアム島で残留日本兵を発見

太平洋戦争の終戦から28年、日本兵だった横井庄一さん(当時56歳)が、グアム島で現地の人に発見されました。横井さんは、戦時中に日本軍が占領していたグアム島に派遣され、アメリカ軍と交戦して敗走。終戦を知らず、ジャングルに潜んで、サバイバル生活をしていました。

帰国後、記者会見などで発言した言葉をとらえた「恥ずかしながら帰って参りました」が、その年の流行語となりました。



©少年写真新聞社2025

## 1月の読書目標 ノンフィクションを読もう



小説家になる前はフリーライターでした

男の子ががんばる姿が好き♡

小学校低学年の時入院して、退屈で初めて童話を書きました

影響を受けた作家は「バッテリー」のあさのあつこさん

## 1月生まれのいとうみくさん

1970年生まれの児童文学作家。児童文学の賞をたくさん受賞しており、指定・課題図書にも頻繁に選出されている。家族を扱った作品、とくに男の子が主人公の作品が多い『車夫』シリーズは特におすすめです!





# 2025年に読んだイチオシ本

読書家の方々に「昨年読んだ中で一番のおすすめ本」を聞いてみました。中学生にもおもしろい本ばかりです。読む本に迷ったときや朝読書にぜひ読んでみてください。（図書室にまとめて並べています）

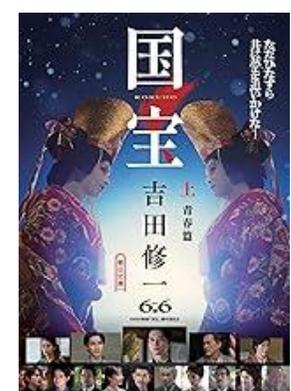
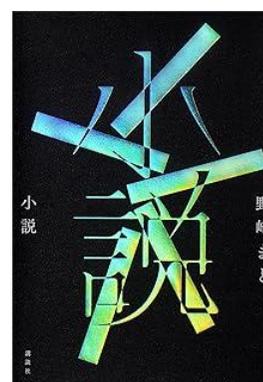
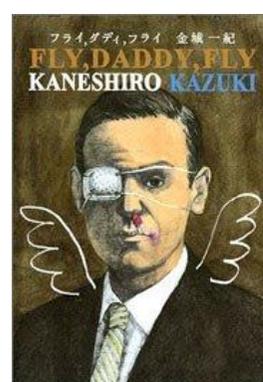
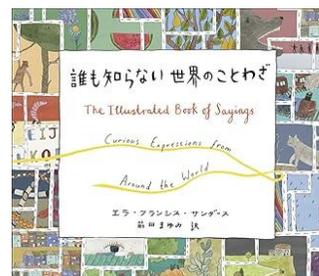
「デフ・ヴォイス」（丸山正樹）「十二国記シリーズ」（小野不由美）「誰も知らない世界のことわざ」（エラ・フランシス・サンダース）

「フライ・ダディ・フライ」（金城一紀）「朝が来る」（辻村深月）「カフネ」（阿部暁子）「小説」（野崎まど）「天地明察」（冲方丁）

「地雷グリコ」（青崎有吾）「椿山課長の七日間」（浅田次郎）「国宝」（吉田修一）「みえるとか みえないとか」（ヨシタケシンスケ）

「ありか」（瀬尾まいこ）「きょうゴリラを植えたよ」（水野太貴・今井おつみ）

次点「トリカゴ」（辻堂ゆめ）「成瀬シリーズ」（宮島未菜）→シリーズ3巻全部あります！



アンケートにご協力いただきありがとうございました。